

国土交通省 東北地方整備局発祥の地

東北地方整備局の発祥が一関であったことをご存知だったでしょうか。東北地方整備局の前身である内務省土木局第二区土木監督署が明治19年7月から同22年7月までの間、一関市田村町120番地に設置され、近代的な舟運を目的とした北上川水路改修工事や道路改築など東北開発の根幹となる様々な事業の策定推進を図りました。やがて同22年7月仙台市に移転し、後の仙台土木出張所と名称を変え、その後幾多の社会的激動を経て、昭和23年7月建設省が設置され現在に至っています。

